

編集後記

3月11日の東日本大震災から3ヶ月を経過しましたが、震災地の復旧、復興はまだ端緒についたばかりです。東北地方同様、千葉県も震災で大きな被害を受けました。旭市飯岡地区の津波被害、浦安、香取などの液状化現象など、今後の復興には相当の時間がかかると考えられます。

今号は「議会改革」と野田市長への「公契約条例」のインタビューを中心に企画してきましたが、企画会議後、大震災が発生したため、震災関係の記事を追加しました。野田市長にも震災関係の状況を伺いました。そのため、一部に原稿を掲載できない記事ができました。宮崎先生の「数字で掴む自治体の姿」は番外編として震災関係について執筆していただきました。

本県の災害の特徴は津波と併せて、液状化現象です。首都への宅地供給や産業立地を目的にして開発を進めてきた浦安、習志野、千葉市美浜地区でとくに大きな被害が出ており、建物への被害は甚大です。今回は浦安市と旭、銚子に関する報告を投稿していただきました。

今回の震災で世の中の雰囲気、価値観が一変しました。原発にたより電気を無尽蔵に消費する生活スタイル、役所や公共サービスの縮小が全て「善」との新自由主義「小さな政府論」。どれも、全面的な見直しが必要と考えられます。市民の安全、安心を担う最後の砦としての地方自治体の役割はとくに重要と再認識しました。当センターの基本目標にある、公共サービスの再生への情報発信は引き続いて行ってまいります。

尚、次回講演会については、10月下旬に「公契約条例」に関する講演会、シンポジウムを予定しております。

事務局長 高橋 秀雄

自治研ちば既刊案内

2010年3月
(創刊号)



- ・発刊にあたって
理事長 井下田 猛
- ・政権交代と公共サービスの再考
東大名誉教授 大森 彌
- ・連載① 数字で掴む自治体の姿
副理事長 宮崎 伸光
- ・松戸市パワハラ訴訟の顛末と問題点
弁護士 小川 寛
- ・連載 「房総の自治鉦脈」
理事長 井下田 猛
- ・茂原市夏の風物詩
茂原市 鶴沢 輝光

2010年6月
(vol. 2)



- ・巻頭言
理事長 井下田 猛
- ・検証！民主党政権による社会保障の行方
淑徳大学准教授 結城 康博
- ・千葉県一般会計当初予算について
千葉県議 天野 行雄
- ・千葉市の平成22年度予算について
千葉市議 三瓶 輝枝
- ・連載 「房総の自治鉦脈」第2回
理事長 井下田 猛
- ・連載② 数字で掴む自治体の姿
副理事長 宮崎 伸光
- ・歴史的資源を活用したまちづくり
香取市 吉田 博之
- ・公共の担い手
NPO法人子育て支援グループハミングちば

2010年10月
(vol. 3)



- ・巻頭言
副理事長 佐藤 晴邦
- ・2010年度の地方財政計画と千葉県の財政状況
自治総研 高木 健二
- ・銚子市立病院 1年8ヶ月ぶりに再開
銚子市議 加瀬 庫蔵
- ・小さな自治体の継続に向けて
酒々井町議 川島 邦彦
- ・北総鉄道運賃値下げと地方自治
鎌ヶ谷市議 藤代 政夫
- ・公共の担い手 トータル介護サービスアイ
代表 大塚美知雄
- ・連載 「房総の自治鉦脈」第3回
理事長 井下田 猛
- ・連載③ 数字で掴む自治体の姿
副理事長 宮崎 伸光
- ・「東洋のドーバー」銚子屏風ヶ浦
銚子市 平野 寛

2010年2月
(vol. 4)



- ・巻頭言
研究員 網中 肇
- ・第7回千葉県地方自治研究会
「新しい公共」自治体でどう取り組むか
法政大学法学部教授 名和田是彦
副理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
白井市長 横山久雅子
ワーカーズコープちば専務理事 菊地 謙
研究員 網中 肇
- ・連載 「房総の自治鉦脈」第4回
理事長 井下田 猛
- ・連載④ 数字で掴む自治体の姿
副理事長 法政大学法学部教授 宮崎 伸光
- ・召しませ！白樺派のカレー
研究員 網中 肇
我孫子市役所 嶋田 繁
- ・公共の擔い手
特定非営利活動法人TRYWARP 代表理事 虎岩 雅明
- ・自治研センター 事務局より～
事務局 事務局より～
事務局長 高橋 秀雄
- ・紹介・スクラップブック「千葉県地方自治関係記事」
理事長 井下田 猛

バックナンバーの申し込みは当研究センターまで 1部500円

自治研ちば vol.5

2011年6月発行

一般社団法人 千葉県地方自治研究センター

〒260-0026 千葉県千葉市中央区千葉港4-4 千葉県労働者福祉センター5階

TEL 043-246-0511

編集・印刷 (株)メロウリンク企画 頒価：500円